

# 中日会報

公益社団法人 中日書道会  
 編集事務局 名古屋市中区  
 〒450-0002 名古屋市 45-19  
 中村区 名駅二丁目 8階 C号 室番  
 桑山ビル (583) 1900番  
 電話 (583) 1910番  
 F A X (583) 1910番  
 http://www.cn-sho.or.jp  
 info@cn-sho.or.jp  
 印刷 株式会社 荒川印刷

## 理事長あいさつ



理事長  
伊藤 仙游

本号がお手元に届く頃には桜の花も満開を過ぎ、春爛漫のなか心浮く季節となっていることでしょう。また、会員の皆様には益々ご健康にお暮しになり、様々な行事などを通じ書作家としてご活躍のことと存じます。

さて愈々令和五年度が始まりました。長らくコロナ禍の影響で全面的な活動ができずにおりましたが、本年度は三年ぶりの「行動規制のないお正月」を迎えて以来、次第にコロナ規制も緩和、平常に近い活動が出来るようになってまいりました。

本会の最も主要な行事であります第七十二回中日書道展は既に準備が進んでおり、展覧会場は名古屋博物館の改修工事のため会場変更を余儀なくされておりますが、授賞式・祝賀懇談会共にコロナ前に戻す努力を致しております。その他の様々な事業についても、出来るだけ前に戻すよう検討してまいる所存です。

私達を取り巻く環境は決して良いものではなく、世間一般の少子高齢化に準ずるように書道団体全般に言える事ですが、本会でも二十代・三十代・四十代の青年層の会員が非常に少なくなっております。これは本会を将来的に支え発展に導く原動力となる人材が不足していることになり、大変重要な検討課題であります。

このため本会所属の二十・三十・四十歳代の会員から有志を選抜し、若年層への本会のアピール方法・来年度に開催予定の創立九十周年イベントのあり方など、本会の運営にさまざまな提案をもらう会を立ち上げ、本会の運営に青年層の力を巻き込みたいと考えております。

このような活動を通じて本会を一般社会に広く知らしめ、芸術としての書の魅力を広く伝えることで、本会の会員増を図りたいと考えております。

最後になりましたが、企画委員・事務局一同、今後益々懸命に努力してまいりますので、会員の皆様には、本会の活動に絶大なるご理解とご支援を頂きますよう、心からお願ひ申し上げます。



## 目次

- 1 理事長あいさつ
- 2 令和四年度第三回理事会開催・第一回評議員会開催
- 3 伊藤仙游理事長岐阜県芸術文化顕彰(受賞)・近藤浩平常任顧問愛知県芸術文化選奨(受賞)・顕彰・令和四年度講演会
- 4 常任顧問土屋陽山先生を偲んで
- 5 第七十三回中日書きぞめ展
- 6 令和五年度行事予定表「四月〜九月」
- 7 第七十二回中日書道展日程表
- 8 令和四年度第三回理事会内容(抜粋)
- 9 第七十三回中日書きぞめ展賞状授与
- 10 第七十三回中日書きぞめ展受賞の喜び
- 11 第七十三回中日書きぞめ展入賞者
- 12 第三十九回読売書法展
- 13 当番審査員
- 14 第七十四回毎日書道展
- 15 第九回日展名古屋展入賞者
- 16 支部だより

### 令和四年度

#### 第三回理事会開催

令和四年度第三回理事会が理事二十九名、監事三名の出席を得て開催されました。松下英風副理事長の開会のことば、伊藤仙游理事長の挨拶ののち議事に入りました。

令和五年度事業計画案、令和五年度予算案、中日書道展の審査委員の承認、特別昇格者の承認、評議員の承認、正会員の承認、新役員選出に関する件、理事・監事定年延長に関する件につきまして、慎重審議が行われ、全会一致で承認されました。

理事会の詳細内容は、P7〜12に記載



日時 令和五年二月五日(日) 十四時  
 会場 名古屋観光ホテル 伊吹の間

### 令和四年度

#### 第一回評議員会開催

令和四年度評議員会が一九〇名の出席を得て開催されました。加藤 裕副理事長の開会のことば、鬼頭翔雲名誉副会長の挨拶ののち伊藤仙游理事長の進行で開催されました。先に開催された理事会の報告会という形で開催され、資料を基に詳細に報告されました。閉会のことばは松下英風副理事長がされました。

引き続き、令和四年度顕彰が行われ、受賞者に花束、記念品が授与されました。なお、祝賀懇談会は、開催しないこととさせていただきます。



日時 令和五年二月五日(日) 十五時半  
 会場 名古屋観光ホテル 曙の間

**祝**

理事長 **伊藤 仙游** 先生

令和四年度岐阜県芸術文化顕彰ご受賞



受賞者功績

・父伊藤天游氏（故人）に師事し、精力的な創作活動により、昭和五十六年には日展に初入選、その後も多数入選し、平成二十三・二十五年には日展特選を受賞、令和元年には日展審査員を務めた。

・日展会員、日本書芸院常務理事、中部日本書道会理事長、岐阜県書作家協会会長等を務め、高校生の書道パフォーマンスイベント「天下布書！」を開催するなど、後進育成や書の認知度の向上に尽力している。

（令和四年度岐阜県芸術文化顕彰ホームページより引用）

**祝**

常任顧問 **近藤 浩乎** 先生

令和四年度愛知県芸術文化選奨ご受賞



受賞者功績

・宮本竹逕・黒野清宇氏に師事し「かな」書道を学ぶ。

・名古屋関戸家伝来の関戸本古今和歌集（伝藤原行成筆）を長年研鑽、書籍「関戸做書辞典」を出版した。

・日展入選二十一回・特選二回・審査員二回、公益社団法人中部日本書道会常任顧問等の要職を務めるなど、輝かしい経歴を持つ。後進の指導・育成にも力を注ぎ、本県芸術文化の振興向上に大きく貢献している。

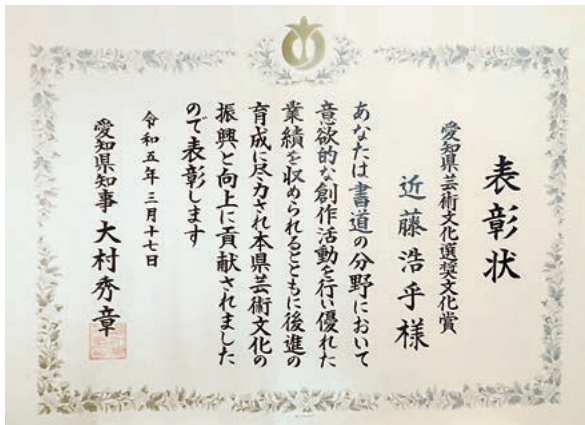
（令和四年度愛知県芸術文化選奨ホームページより抜粋引用）



表彰状



ご受賞記念品 三彩六方壺（七代 加藤幸兵衛作）



表彰状



表彰盾

常任顧問 伊藤昌石先生 令和四年度地域文化功労者文部科学大臣賞表彰  
 顕彰  
 日展入選／毎日展会員賞／読売準大賞・読売新聞社賞受賞者

令和四年度 顕彰表彰を開催して

褒賞部長 水野 峯 翠



地域文化功労者表彰・伊藤昌石常任顧問



日展初入選の皆さん



毎日展会員賞  
鈴木紅瑤先生



読売新聞社賞  
梶田女里先生



読売準大賞  
山本雅月先生

二月五日(日)令和四年度理事会・評議員会に続き顕彰表彰が、名古屋観光ホテル三階那古の間において開催されました。地域文化功労者・文部科学大臣賞を常任顧問の伊藤昌石先生がご受賞され、本会名誉副会長の安藤滴水先生より花束と記念品が贈呈されました。引き続き、令和四年度第九回日展審査員、日展名古屋展より名古屋市長賞、CBC賞、

中日新聞社賞、東海テレビ放送賞の方々に名誉副会長の鬼頭翔雲先生より花束が、日展初入選者、第三十八回読売書法展の読売新聞準大賞、読売新聞社賞、第七十三回毎日書道展会員賞の方々に本会理事長の伊藤仙游先生より記念品がそれぞれ贈呈されました。多くの会員の皆様からお祝いの拍手を頂き、令和四年度の顕彰表彰は無事終了いたしました。

令和四年度 講演会を開催して

研究部長 廣澤 凌 舟

講師 名古屋芸術大学教授 長谷川 喜久 先生  
 演題 「絵画鑑賞とは? 目で見て心で感じる為に」

二月五日(日)、名古屋観光ホテル曙の間におきまして令和四年度講演会を開催いたしました(参加者二〇九名)。

講師に日本画家、長谷川喜久先生(日展特別会員、名古屋芸術大学教授)をお迎えし「絵画鑑賞とは? 目で見て心で感じる為に」という演題でご講演いただきました。

絵画鑑賞の方法、作品制作等、スクリーンを使い軽快にお話しいただき、参加者より「日本画と書は共通するところが沢山あるのですね」今日のお話しを参考に作品制作を試みようと思えます」等のお言葉をいただきました。

最後になりましたが、ご多用中にも拘らず本会のためにご講演いただきました長谷川喜久先生に厚く御礼申し上げます。

来年も講演会を開催予定でございます。その節は多数のご参加をお願いいたします。



長谷川喜久先生



講演会風景

# 「常任顧問 土屋陽山先生を偲んで」

川崎尚麗



と文化と書の淵源を訪ねる旅。中日書道会から数回もの中国訪中は、いい思い出となっているといわれています。

先生に「本を読み、考え、実行することが大切」と。

土屋先生は、暢心書道会・陽山会においてかけがえない立派な真面目な努力家の先生でした。東洋大学卒業後、皇宮護衛官を務め、その後名古屋に戻り市役所に勤務、定時に仕事を終えた日の過ごし方を考え、書道の吉田桂秋先生の門をたたいたそうです。

「学びに終着駅なし」の言葉を胸に、書道一筋に中日・毎日・暢心と活躍されました。

これもひとえに皆様のお蔭と常々お話をされてきました。

いにしえの人との対話を求め、歴史



覆載



柏葉壽

枕草子に女性の教養として一に習字、二に音楽、三に和歌をたしなむとあるように、温故知新、先賢の残した思想や作品からその歴史を通じて自らを高めることの大切さをお教え下さいました。生前心を通わせ支えて下さいました皆様により感謝いたします。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。長年ご指導を賜り有難うございました。ご冥福をお祈りいたします。合掌

## 第73回 中日書きぞめ展

出品点数 13,083点

### 第七十三回中日書きぞめ展を終えて

第一教育部長 竹内峰敏

令和四年十月の公募規定の発送に始まり、令和五年一月十九日の作品搬入受付、二月四日の審査会と予定通りに進みました。そして、桜もほころび始めた三月十一日(土) 十二日(日) にナディアパーク二階アトリウム(矢場町)で第七十三回中日書きぞめ展を開催しました。

今回は、総出品数二一、〇八三点の中から、厳正な審査により決定された衆議院議長賞・参議院議長賞・文部科学大臣賞から推薦・奨励賞までの一、一四五点を展示しました。また、前回に引き続き第五回手書き文字年賀状コンクール優秀作品を展示しました。

初日の土曜日は、ストリートピアノが実施され、生ピアノ演奏が途切れることなく流れ前回は一味違う書きぞめ展会場となりました。二日目の日曜日は授賞式もあり、あちらこちらで笑顔の記念撮影が行われていました。そして、子供の頃の書写の話に花を咲かせ、筆文字談義を始める社会人のグループもありました。

六月に開催される中日書道展には、書きぞめ展上位九十八点の作品を陳列して応援いたします。最後になりましたが多くの協賛会員の皆様に陳列、撤去をお手伝いいただきお礼申し上げます。



賑わいの展示会場



作品前での記念撮影

令和5年(2023)度 中部日本書道会 行事予定表「4月～9月」

※実施予定日が決まっている行事を掲載しました。  
※行事が変更になる場合がありますので、事前の案内でご確認ください。

月	日	曜	本部		支部	
					[支部展・支部集会・交流会・講演会・研修会・学生(学童)書展]	
4月	19	水	中日展書類搬入(本部)			
	28	金	中日会報208号発送(予定)			
5月	11	木	中日展裏打ち作品搬入(電気文化会館)			
	12	金	中日展二科審査(一部)(電気文化会館)			
	13	土	中日展一科審査(一部) (二部～五部は、一科審査・二科審査を実施) (電気文化会館)			
	14	日	中日展特別賞選考(電気文化会館)	中日展裏打ち作品搬出(電気文化会館)		
6月	12	月	中日展作品搬入・陳列 (名古屋市民ギャラリー栄)			
	13	火	中日展 無鑑査(1部～5部) 二科(3部)	中日展作品搬入・陳列(愛知芸術文化センター)		
	14	水	〃	中日展(依嘱以上役員・無鑑査受賞作品)		
	15	木	〃	〃		
	16	金	〃	〃		
	17	土	〃	〃		
	18	日	〃	(作品搬出①)(愛知芸術文化センター)		
	19	月	作品入替 搬出・搬入・陳列			
	20	火	中日展二科(1・2・3・5部)	(作品搬出②)(愛知芸術文化センター)		
	21	水	〃			
	22	木	〃			
	23	金	〃			
	24	土	〃			
	25	日	(作品搬出)(名古屋市民ギャラリー栄)	中日展授賞式・総会・祝賀会(予定) (名古屋観光ホテル)		
26	月		中日展一科作品搬入・陳列 (電気文化会館東西ギャラリー)			
27	火		中日展一科(1部姓あ～す・5部)			
28	水		〃			
29	木		〃			
30	金		〃			
7月	1	土		〃		
	2	日		〃		
	3	月		作品入替 搬出・搬入・陳列		
	4	火		中日展一科(1部 姓せ～)		
	5	水		〃		
	6	木		〃		
	7	金		〃		西三河支部第56回学生書道展 (岡崎市美術館)
	8	土		〃	一宮支部第50回記念七夕まつり 学生書道展(一宮スポーツ文化センター)	〃
	9	日		〃	〃	〃
	10	月		作品入替 搬出・搬入・陳列		
	11	火		中日展一科(2・3・4部)		
	12	水		〃		
	13	木		〃		
	14	金		〃		
15	土		〃			
16	日		(作品搬出)(電気文化会館東西ギャラリー)			
21	金			第35回北勢支部展 (四日市市文化会館)		
22	土			〃		
23	日			北勢支部講演会 (四日市市文化会館)	第8回半田支部公開書道研修会 (半田市福祉文化会館)	
25	火			第46回東三河支部展 (豊川市桜ヶ丘ミュージアム)		
26	水			〃		
27	木			〃		
28	金			〃		
29	土			〃		
30	日			東三河支部集会・講演会		
8月	10	木		第37回濃飛支部展 (中津川市中央公民館)(予定)		
	11	金		〃		
	12	土		〃		
	31	木	中日会報209号発送(予定)		濃飛支部集会・講演会・交流会(予定)	
9月	23	土		第57回半田支部展 (半田市福祉文化会館)		
	24	日				

第七十二回 中日書道展 日程表

二月 十九日	日	書類発送	中部日本書道会本部	午後一時～午後五時
四月 十四日	金	書類(各取扱店の締切)		
四月 十九日	水	書類搬入(取扱店) 本部へ	中部日本書道会本部	受付 午後一時～午後三時 作業 午後四時まで
<b>電気文化会館 東・西ギャラリー・イベントホール 五階</b>				
五月 十一日	木	依嘱・無鑑査・一科・二科裏打ち作品搬入		午後一時～午後五時
五月 十二日	金	※1 部により二科・一科鑑査の日時が違います。表末を確認下さい。		
五月 十三日	土	特別賞選考(依嘱・無鑑査)		午前九時半～午後三時
五月 十四日	日	裏打ち作品搬出		午後三時～午後五時
<b>愛知芸術文化センター 県美ギャラリー 八階</b>				
六月 十三日	火	審査顧問・特別出品・一科鑑査会員・二科鑑査会員・依嘱 無鑑査(第一～五部受賞作品) 搬入・陳列		搬入 午前九時～午後五時 (主任以上) 陳列 午後一時～午後五時
六月 十四日	水	右記作品展示		午前十時～午後六時
六月 十七日	土	右記作品展示		午前十時～午後六時
六月 十八日	日	右記作品展示 作品搬出①		午前十時～午後四時 午後四時～午後六時
六月 二十日	火	作品搬出②		午前九時半～正午
<b>名古屋市民ギャラリー栄 七・八階</b>				
六月 十二日	月	無鑑査作品 第一～五部(受賞作品を除く) 二科作品 第三部		搬入 午後一時～午後五時 陳列
六月 十三日	火	右記作品展示		午前十時～午後六時
六月 十八日	日	入替 前会期作品の搬出 二科作品 第一・二・四・五部の搬入・陳列		午前九時半～午後五時
六月 十九日	月	右記作品展示		午前十時～午後六時
六月 二十日	火	右記作品展示		午前十時～午後六時
六月 二十四日	土	右記作品展示		午前十時～午後四時
六月 二十五日	日	作品搬出		午後四時～午後六時

<b>電気文化会館 東・西ギャラリー</b>				
六月 二十六日	月	一科 一部作品(姓あ～す)・五部全作品 搬入・陳列		搬入 午後一時～午後五時 陳列
六月 二十七日	火	右記作品展示		午前十時～午後六時
七月 二日	日	入替 前会期作品の搬出 一科 一部作品(姓せ)		搬入・陳列 午前一時～午後六時
七月 三日	月	右記作品展示		午前十時～午後六時
七月 四日	火	入替 前会期作品の搬出		午前一時～午後六時
七月 九日	日	右記作品展示		午前十時～午後六時
七月 十日	月	入替 前会期作品の搬出 一科 二・三・四部作品 搬入・陳列		午前一時～午後六時
七月 十一日	火	右記作品展示		午前十時～午後六時
七月 十五日	土	右記作品展示		午前十時～午後六時
七月 十六日	日	作品搬出		午前十時～午後三時 午後三時～午後五時

※1 一部(漢字) 二科鑑査は五月十二日(金) 午後一時～一科鑑査は五月十三日(土) 午後一時～二部(かな) 四部(小字数) 五部(篆刻・刻字) は二科鑑査を五月十三日(土) 午後一時～一科鑑査を五月十三日(土) 午後三時～

※2 三部(近代詩) は一科鑑査を五月十三日(土) 午前九時三十分～二科鑑査を五月十三日(土) 午後一時三十分～

※3 第七十三回中日書きぞめ展上位作品(一〇四点予定) を展示

※無鑑査(一～五部)の受賞作品(中日賞・桜花賞)はすべて愛知県美術館ギャラリー8Fに展示します。

■御長寿作品(米寿)〈昭和九年四月二日～昭和十年四月一日生まれの方〉(令和四年四月二日～令和五年四月一日に八十八才になられた方)の展示について「米寿の役員の作品と米寿の一科・二科の作品は愛知県美術館ギャラリー8Fに展示します。又、二科の作品(三部を除く)は名古屋市民ギャラリーの会期に、一科の作品は電気文化会館東・西ギャラリーの会期にて再度展示します。

◆授賞式 六月二十五日(日) 名古屋観光ホテル(予定)

◆祝賀会 六月二十五日(日) 名古屋観光ホテル六時～(予定)



第2号議案 令和5年度予算(案)に関する件 (1) 収支予算書

令和5年度 収 支 予 算 書 (案)

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日  
公益社団法人 中 部 日 本 書 道 会

科 目	令和5年度	令和4年度	増 減 (A)-(B) 円	説 明
	予算額 (A) 円	予算額 (B) 円		
1 事業活動収入の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用利息収入	462,000	462,000	0	3000万×0.002%
② 特定資産運用利息収入	241,000	245,000	△4,000	定期利息、国債利息
③ 雑収入	600	600	0	理事等事務140,000円 評議員等事務120,000円 正会員80,000円 準会員50,000円 協賛会員25,000円
④ 事業収入	13,572,000	13,236,000	336,000	6,000円×230点 支部別内訳参照
1 寄附金収入	16,344,000	16,848,000	△504,000	支部別内訳参照
2 正会員会費収入	1,710,000	1,790,000	△80,000	支部別内訳参照
3 準会員会費収入	1,000,000	1,000,000	0	支部別内訳参照
4 協賛会費収入	33,063,000	33,336,000	△273,000	支部別内訳参照
⑤ 事業収入	1,380,000	1,380,000	0	2000円(資料代)×150名 3000円×15名(会員外)
1 寄附金収入	4,400,000	4,843,000	△443,000	中日展収入内訳参照 400円×約15,000点(整理費差引)
2 寄附金収入	3,577,500	3,766,200	△188,700	支部別内訳参照
3 寄附金収入	0	250,000	△250,000	支部別内訳参照
4 寄附金収入	1,930,000	2,100,000	△170,000	支部別内訳参照
5 寄附金収入	40,000	40,000	0	支部別内訳参照
6 寄附金収入	100,000	100,000	0	支部別内訳参照
7 寄附金収入	230,000	230,000	0	支部別内訳参照
8 寄附金収入	300,000	300,000	0	支部別内訳参照
9 寄附金収入	300,000	300,000	0	支部別内訳参照
10 寄附金収入	45,000	60,000	△15,000	支部別内訳参照
11 寄附金収入	0	0	0	支部別内訳参照
12 寄附金収入	40,975,000	42,362,000	△1,387,000	支部別内訳参照
13 寄附金収入	5,600,000	5,600,000	0	支部別内訳参照
14 寄附金収入	3,750,000	3,800,000	△50,000	支部別内訳参照
15 寄附金収入	15,000,000	16,600,000	△1,600,000	支部別内訳参照
16 寄附金収入	2,546,000	2,531,000	15,000	支部別内訳参照
17 寄附金収入	80,173,500	84,142,200	△3,968,700	支部別内訳参照
⑥ 雑収入	70	220	△150	令和5・6年度版
1 雑収入	800,000	402,000	398,000	一宮支部
2 雑収入	402,000	95,000	307,000	備品貸し出し
3 雑収入	95,000	3,000	92,000	
4 雑収入	3,000	500,220	△497,220	
5 雑収入	1,300,070	118,224,020	△116,923,950	
事業活動支出の部				
1 事業活動支出				
① 基本財産減価償却費	624,000	624,000	0	支部事業費含む
② 特定資産減価償却費	0	408,000	△408,000	
③ 雑費	1,221,000	1,124,000	97,000	各種謝礼、記念品代
1 雑費	6,475,000	6,210,000	265,000	賞品代
2 雑費	164,000	200,500	△36,500	作業時交通費
3 雑費	7,689,500	8,093,000	△403,500	バス
4 雑費	3,019,200	4,114,800	△1,095,600	作業時食料
5 雑費	591,500	692,000	△1,009,500	出張費
6 雑費	7,405,796	8,714,842	△1,309,046	展示会案内、出品票、賞状等
7 雑費	44,000	43,000	1,000	早田支部事業光熱費
8 雑費	18,429,26	19,955,52	△1,526,26	会場使用料
9 雑費	127,000	183,000	△56,000	一宮支部事業支分会費
10 雑費	19,000	11,000	8,000	会議費、看板、ネガ作成、中申展受付等
11 雑費	7,019,000	5,150,000	1,869,000	愛の基金による寄託他
12 雑費	19,000	8,000	11,000	外国研修補助
13 雑費	7,190,000	5,150,000	2,040,000	
14 雑費	119,000	145,000	△26,000	
15 雑費	350,000	350,000	0	
16 雑費	733,000	1,390,000	△657,000	
17 雑費	2,065,600	3,263,600	△1,198,000	
18 雑費	3,362,000	3,362,000	0	
19 雑費	50,000	50,000	0	
20 雑費	15,000,000	16,600,000	△1,600,000	
21 雑費	2,622,000	2,500,000	122,000	
22 雑費	2,270,000	2,700,000	△430,000	
23 雑費	7,509,000	7,509,000	0	
24 雑費	150,000	200,000	△50,000	
25 雑費	374,000	386,000	△12,000	
26 雑費	0	0	0	
27 雑費	2,213,000	2,213,000	0	
28 雑費	71,059,522	74,551,294	△3,491,772	若年層・書きぞめ表装料ほか 事業別内訳参照

支部別内訳	備 考							合 計
	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	
支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	合 計
1 支部収入	800,000	512,000	850,000	948,000	180,000	240,000	300,000	4,400,000
2 支部支出	1,420,000	0	2,090,000	67,500	0	0	0	3,577,500
3 支部収入	0	0	0	0	0	0	0	0
4 支部収入	120,000	400,000	0	280,000	165,000	325,000	360,000	1,930,000
5 支部収入	0	0	0	40,000	0	0	0	40,000
6 支部収入	1,020,000	450,000	0	0	300,000	200,000	261,000	315,000
7 負担金収入	95,000	0	0	0	0	0	0	95,000
合 計	3,455,000	1,362,000	2,940,000	1,335,500	645,000	765,000	921,000	12,588,500

支部別内訳	備 考							合 計
	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	
支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	合 計
1 講演会費	132,000	93,000	0	100,000	85,000	97,000	140,000	705,000
2 講習会費	0	0	0	40,000	0	60,000	0	100,000
3 研究会費	0	0	105,900	0	0	0	0	105,900
4 支部研修費	60,000	613,000	644,000	350,000	160,000	335,000	420,000	449,772
5 支部運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0
6 支部学生展費	1,833,000	0	2,101,000	80,000	0	0	0	4,014,000
7 支部展費	330,000	481,000	1,007,000	900,000	180,000	192,000	230,000	4,647,500
8 包紙展費	350,000	0	0	0	0	0	0	350,000
9 書道振興事業費	0	0	0	0	0	0	0	0
10 周年記念事業費	400,000	0	0	0	0	0	0	400,000
11 支部祝賀会費	1,050,000	450,000	0	0	270,000	200,000	261,000	2,622,000
事業費計	3,755,000	2,037,000	3,277,900	1,470,000	695,000	884,000	1,051,000	14,533,422

支部別内訳	備 考							合 計
	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	
支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	合 計
支部事務所費	1,051,000	347,000	676,500	206,000	149,000	217,000	150,000	989,000
積立金	70,000	100,000	300,000	0	0	30,000	0	700,000
積立金取崩	0	400,000	0	0	0	0	0	400,000
支部収支差額	0	-264,000	-240,900	25,500	-50,000	0	40,000	-735,422





(2) 正味財産増減予算書

令和5年度 正味財産増減予算書 (案)

自 令和5年4月1日  
至 令和6年3月31日

科 目	令和5年度予算額 (A) 円	令和4年度予算額 (B) 円	増減 (A) - (B) 円	説 明
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用利益	600	600	0	
② 特定資産受取利息	241,000	245,000	△ 4,000	
③ 受取利息	462,000	462,000	0	
1 理事監事受取会費	13,572,000	13,236,000	336,000	
2 評議員受取会費	16,344,000	16,848,000	△ 504,000	
3 連合会受取会費	1,710,000	1,790,000	△ 80,000	
4 進歩会受取会費	975,000	1,000,000	△ 25,000	
5 協賛会受取会費	33,063,000	33,336,000	△ 273,000	
④ 事業収益				
1 寿 業 展 収 入	1,380,000	1,380,000	0	
2 支 部 展 収 入	4,400,000	4,843,000	△ 443,000	
3 支 部 展 収 入	3,577,500	3,766,200	△ 188,700	
4 支 部 展 収 入	0	250,000	△ 250,000	
5 支 部 展 収 入	1,930,000	2,100,000	△ 170,000	
6 支 部 展 収 入	40,000	40,000	0	
7 書道教育者推薦教室看板料収入	100,000	100,000	0	
8 塾 交 流 収 入	230,000	250,000	△ 20,000	
9 公 員 交 流 収 入	300,000	300,000	0	
10 公 員 交 流 収 入	300,000	160,000	140,000	
11 普通教育研修参加料収入	45,000	60,000	△ 15,000	
12 周年記念事業収入	0	0	0	
13 中日書き展収入	40,975,000	42,362,000	△ 1,387,000	
14 愛の書き展収入	5,600,000	5,600,000	0	
15 愛の書き展収入	3,750,000	3,800,000	△ 50,000	
16 本部部祝賀会収入	15,000,000	16,600,000	△ 1,600,000	
17 支 部 祝 賀 会 収 入	2,546,000	2,531,000	15,000	
⑤ 受取利息	80,173,500	84,142,200	△ 3,968,700	
⑥ 雑収入	0	0	0	
1 普通預金受取利息	70	220	△ 150	
2 宛名簿広告料収入	800,000	0	800,000	
3 宛名簿発行手数料収入	402,000	402,000	0	
4 雑収入	95,000	95,000	0	
5 雑収入	3,000	3,000	0	
経 営 収 入 計	130,007,070	500,220	799,850	
経 営 収 入 計	114,778,170	118,224,020	△ 3,445,850	
(2) 経常費用				
1 理事監事報 酬	1,305,000	1,305,000	0	
2 評議員代 酬	207,000	207,000	0	
3 連合会副 長 報 酬	93,000	93,000	0	
4 進歩会副 長 報 酬	62,000	62,000	0	
5 協賛会副 長 報 酬	207,000	207,000	0	

6 企画委員を兼務する評議員報酬	624,000	624,000	0	
7 企画委員を兼務する職員手当	5,700,000	5,566,000	134,000	
8 退職給付	0	0	0	
9 臨時職員賃金	1,080,000	1,488,000	△ 408,000	
10 臨時職員賃金	486,000	486,000	0	
11 臨時職員賃金	35,000	35,000	0	
12 報 酬	2,771,000	3,074,000	△ 303,000	
13 報 酬	653,000	626,500	26,500	
14 報 酬	818,500	963,500	△ 145,000	
15 旅 費	10,552,500	10,944,000	△ 391,500	
16 食 費	3,328,200	4,529,800	△ 1,201,600	
17 消 費	1,303,500	1,429,200	△ 125,500	
18 印 刷	15,431,296	15,499,048	△ 67,752	
19 光 熱	385,000	388,000	△ 3,000	
20 通 信	6,926,526	7,103,152	△ 176,626	
21 手 続	809,500	867,500	△ 58,000	
22 事 務	8,019,000	8,011,000	8,000	
23 運 送	8,618,000	6,693,000	1,925,000	
24 消 耗 品	219,000	245,000	△ 26,000	
25 租 税	25,000	25,000	0	
26 委 託	717,000	717,000	0	
27 委 託	1,173,000	1,941,000	△ 768,000	
28 委 託	2,215,600	3,413,600	△ 1,198,000	
29 寄 託	3,512,000	3,512,000	0	
30 法 定	50,000	50,000	0	
31 雑 費	900,000	900,000	0	
32 雑 費	0	0	0	
33 支 部 演 講 費	15,000,000	16,600,000	△ 1,600,000	
34 支 部 演 講 費	2,622,000	2,500,000	122,000	
35 支 部 演 講 費	270,000	270,000	0	
36 支 部 演 講 費	7,845,000	7,845,000	0	
37 支 部 演 講 費	964,000	1,064,400	△ 100,400	
38 支 部 演 講 費	374,000	386,000	△ 12,000	
39 支 部 演 講 費	40,000	40,000	0	
40 支 部 演 講 費	2,213,000	2,213,000	0	
41 支 部 演 講 費	0	0	0	
42 支 部 演 講 費	11,343,622	11,581,500	△ 238,378	
43 支 部 演 講 費	1,346,548	2,409,020	△ 1,062,472	
(1) 経常外増減の部				
① 経常外収益	0	0	0	
② 経常外費用	0	0	0	
経 常 外 収 入 計	0	0	0	
経 常 外 費 用 計	0	0	0	
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	1,346,548	2,409,020	△ 1,062,472	
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	113,498,239	110,783,093	2,715,146	
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	114,844,787	113,192,113	1,652,674	
II 指定正味財産増減の部				
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0	
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	114,844,787	113,192,113	1,652,674	

2022年3月31日残高

(3) 事業区分後の正味財産増減予算書

正味財産増減予算書

(損益計算ベースかつ事業別に区分したもので)
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
公益社団法人 中部日本書道会

(単位 円)

Table with columns: 科目, 公1, 公益目的事業会計, 共通, 小計, 収益事業等会計, 他1, 法人会計, 合計, 備考. Rows include items like 一般正味財産増減の部, 経常収益, 経常費用, etc.

Table with columns: 食糧費, 消耗品費, 印刷製本費, etc. Rows list various expenses and their amounts.

(4) 資金調達及び設備投資の見込みについて

Table with columns: 事業年度, 自, 至, 法人コード, 法人名. Rows show financial data for 令和5年4月1日 and 令和6年3月31日.

(1) 資金調達の見込みについて

Table with columns: 借入れの予定, 借入先, 金額, 便途. Rows show borrowing details.

(2) 設備投資の見込みについて

Table with columns: 設備投資の予定, 設備投資の内容, 支出又は収入の予定額, 資金調達方法, 又は取得資金の便途. Rows show equipment investment details.

# 令和四年度 第三回理事会 承認事項 新審査会員・新正会員の承認

## 第三号議案

### 特別昇格者の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会定款  
第五条一により、下記の者を依嘱  
特別昇格者としての承認を求め  
る。

この承認は令和五年四月一日付け  
とする。

#### 第一部 (一名)

細川 柳舫

#### 第二部 (二名)

稲垣流美子 成瀬 孝子

## 第四号議案

### 評議員の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会運営  
規定 第五条の二により下記の者  
に評議員としての承認を求め  
る。この委嘱は令和五年四月一日付け  
とする。

#### 第五号議案

##### 正会員の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会定款  
第五条一号により、下記の者を正  
会員としての承認を求め  
る。

## ●評議員

### 第一部 (二十五名)

青山 松園 安藤 映秀  
石塚 弘子 岩田 浩泉  
白井 紅逕 内田 勢潭  
大畑 麦川 梶木 光雪  
片桐 瑤雪 倉田 果苑  
小島 瑞香 小林 雅子  
笹本 都和 神藤 紫穂  
杉浦 薫水 杉本 扇鈴  
高松 彩月 長島 佳伯  
村上 桂峻 森 環翠

### 第一部 (六十三名)

相崎 実桜 青野 翠煙  
荒川 白扇 石川栄利子  
井出 陽子 稲垣 芳辰  
稲積 梅山 犬飼 清真  
犬塚 結理 今井 冬葩  
今井 理加 今枝 翠栄  
今川 流秀 鶴飼 水影

### 第二部 (十四名)

石村 晃子 伊藤ひとみ  
上村 寿子 加藤 淳子  
下里 園子 豊田 恵子  
中島ちづ子 中村 淑子  
野澤恵美子 細野真由莉  
丸山 仁美 水越 泉聲

## 第三部 (三十三名)

山田 弘子 和井内真百合  
浅井 袖衣 石黒 麗月  
大田さやか 太田 遥  
緒川 莉子 尾関あずさ  
貝谷 溪仙 片山 葉那  
加藤 蒼琅 金澤 春陽  
合木 湖雪 齋藤 孝貴  
作田 菜月 白崎 力  
高倉 佳風 寺嶋 祥香  
中濱 壮大 長谷川素雪  
平本 啓恭 廣瀬 芳雲  
古田ひなせ 松原 瑞穂  
真野 青空 三嶋 寿扇  
宮島 愛佳 宮林 祥苑  
村尾 亜子 村瀬 紫華  
山田 清連 横地 清子  
吉田 玉枝 吉原ゆう子  
若杉 尚哉

## ●二科審査会員

### 第一部 (二十五名)

青山 松園 安藤 映秀  
石塚 弘子 岩田 浩泉  
白井 紅逕 内田 勢潭  
大畑 麦川 梶木 光雪  
片桐 瑤雪 倉田 果苑  
小島 瑞香 小林 雅子  
笹本 都和 神藤 紫穂  
杉浦 薫水 杉本 扇鈴  
高松 彩月 長島 佳伯  
村上 桂峻 森 環翠  
守永 藍麗 諸富 瑞青  
山口 如泉 山崎 曲全  
吉川 桃華

### 第二部 (五名)

鏡 千裕 加藤 光月  
成田 尚子 西脇 聖園  
水谷 玉汀

## 第四部 (六名)

一柳 純子 小倉 聖代  
加藤由美子 小坂 仁子  
藤垣 広子 水谷 劍堂

### 第三部 (八名)

岩崎 墨舟 奥村 順子  
高橋 花柊 田中 美香  
長瀬 竜清 溝口 大河  
宮崎 弘園 横井 吟虹

## 第五部 (八名)

鶴飼 要 柴川 高広  
白川 眞弓 永坂 暁美  
平田 憲生 松野 悦子  
村田 恵紅 湯浅 茅咲

### 第四部 (二名)

井野 華水 黒柳 景光  
豊田 亀道 堀 梅肇

## 第六号議案

### 審査会員の承認に関する件

## 第七号議案

### 新役員選考委員選出に関する件

公益社団法人中部日本書道会展覧  
会開催規定 第九条の規定によ  
り、下記の者を審査会員として  
の承認を求め  
る。この承認は令和五年四月一日付け

# 第73回 中日書きぞめ展賞状授与

授賞式 令和5年3月12日(日) 14時~15時30分 会場 ナディアパーク 3階 デザインホール

## 第七十三回中日書きぞめ展授賞式を終えて

褒賞部長 水野 峯 翠

令和五年三月十二日(日) ナディアパーク三階デザインホールにて第七十三回中日書きぞめ展授賞式を挙行致しました。

本年も新型コロナウイルスの感染拡大を考慮しながらの開催となりました。昨年同様に受賞者と保護者一名の入場とし、事前に葉書にてご出欠表をご提出いただき、受賞者のお席を指定席にいたしました。本年の授賞式には多数の方にご出席いただき、受賞を喜び、そして讚え合うことができました。

式典は、来賓に本会役員の先生方にご臨席賜り、次第に基づき、伊藤仙遊理事長のご挨拶、第一教育部長の審査説明があり、その後、厳かに肅々と授与をいたし無事終了いたしました。(また最後に、衆議院議長賞、参議院議長賞、文部科学大臣賞の三名の方と理事長、副理事長、に入っていたいただき記念写真を撮りました。)受賞者及び保護者の方々のご協力に感謝申し上げます。また、ご指導、ご協力いただきました指導者の先生方に厚く御礼申し上げます。

次年度も本年と同時期に開催する予定でございます。本年同様、多数のご出品をお願い申し上げます。



上位賞入賞の皆さん



書きぞめ展審査風景



授賞式会場風景



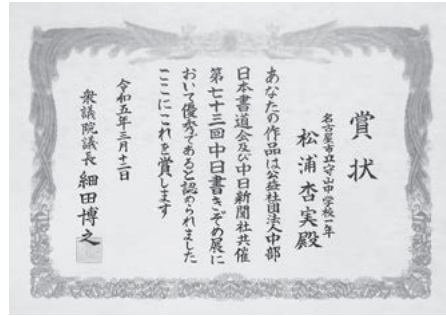
賞状授与

# 第73回 中日書きぞめ展受賞の喜び

## 衆議院議長賞を受賞して

名古屋市守山中学校 一年 松浦 杏実

この度は衆議院議長賞を頂きありがとうございます。家に届いた封筒を開けた時、突然の知らせに実感がわかず戸惑いながらも、喜びのあまり思わず隣にいた祖父とハイタッチをしました。丁寧にご指導して下さいました先生、どんな時でもほめてくれた家族には感謝しかありません。



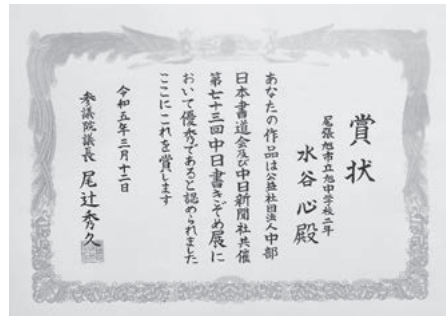
賞状

私が習字を始めたのは三才で、小学一年生の夏には今の習字教室に通うことになりました。初めて中日書きぞめ展の表賞式に参加したのは小学二年生の理事長賞でした。その時、上手な字を書いている大きなお姉さん達が立派な賞状とトロフィーを持っているのを見て、いつか私も一番上の賞をとりたい、と決意しました。その夢がこんなにも早く叶うとは思ってもいなかったのです。とても嬉しいです。これからも、今回の結果に満足することなくさらなる上を目指して、習字と勉強の両立を頑張りたいです。

## 参議院議長賞を受賞して

尾張旭市旭中学校 二年 水谷 心

この度は、参議院議長賞という素晴らしい賞を頂き、ありがとうございます。書き初めは、自分の納得で書ける字がなかなか書けず、仕上げに時間が掛かったため、喜びもひとしおです。



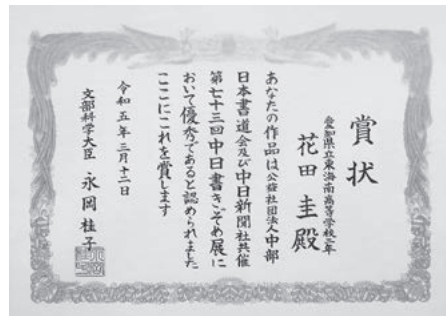
賞状

私は、小学校二年生から習字を習っており、先生の美しい字に憧れ、一生懸命書いてきました。字を書けば書くほどお手本に近づき、自分の字がキレイになっていくと実感することができました。さらに、誉められることが増えたことで、とても嬉しく、今まで続けてくることができました。これも、御指導をくださる先生や、応援し続けてくれた両親のおかげです。この賞の名に恥じないよう、これからも努力し続けたいと思います。

## 文部科学大臣賞を受賞して

愛知県立東海南高等学校 二年 花田 圭

この度は文部科学大臣賞を受賞することができました。大変嬉しく思います。



賞状

「長楽無極」を書くとときに心が二つあります。一つは「力強さ」です。一つ一つの文字を大きく書き、かすれを出すように頑張りました。また、線を太くするだけでなく細い線も入れて強弱をつけました。二つ目に「楽しく書くこと」です。これは私が書道をする際に常に心がけていることです。「こうしたらもっとよくなるかな。」と思いながら書くこと楽しくなってきました。筆で字を書くことは気持ちよく落ち着かせることができるので大好きです。

今回の受賞は、ご指導して下さいました先生、サポートしてくれた両親、応援してくれた友達のおかげです。周りの方々への感謝を忘れずに、これからも書道に取り組んでいきたいです。

博愛精神  
中一 松浦 杏実

瑞雲鶴舞  
中二 水谷 心

長楽無極  
高二 花田 圭

# 第七十三回 中日書きぞめ展入賞者

### 衆議院議長賞

中学一年 松浦 杏美

### 参議院議長賞

中学二年 水谷 心

### 文部科学大臣賞

高校二年 花田 圭

### 愛知県知事賞

高校一年 吉田 夢叶

中学二年 乾 衣里

小学六年 今西ちはる

### 岐阜県知事賞

高校三年 真野 青空

中学二年 池田 百音

小学五年 小野 心結

### 三重県知事賞

中学一年 石川 直弥

小学四年 志智 悠真

小学三年 石川穂乃佳

### 名古屋市長賞

高校二年 藤村 真央

中学一年 松下 莉緒

小学五年 原口ひより

### 愛知県議会議長賞

小学六年 江川 千紘

### 岐阜県議会議長賞

高校三年 辻 永恋

### 三重県議会議長賞

中学二年 倉知 咲奈

### 名古屋市長賞

高校一年 鬼頭 莉央

中学三年 福田 あみ

小学二年 大元陽菜乃

野口 瑞葵

長谷川千紗

中山 芽生

後藤 謙心

鈴木 明依

水野帆乃香

伊藤 優乃

大窪 樹音

酒井 愛菜

土本 知央

山口 結愛

井上 陽斗

榎原 理子

川越 詩歩

山田 朱莉

山田高太郎

渡邊菜々葉

青山 もな

小川嵩太郎

篠畑 侑奈

内藤 峻晴

渡邊ももか

熊澤 宏斗

清水 紅花

川村 拓人

林 小葉

松野 莉子

森島 菜歩

大橋 莉々

沢田 麗羽

花岡 千結

大野 彩芭

中村 朱里

松浦 佑樹

足立 芽海

太田 小晴

加藤 滉大

柴田茉友子

野垣 梨紗

板津 莉子

浅井 柚衣

岡田 由香

平田 直美

大澤 遙

石川 千紗

熊澤 莉子

若林 心花

加藤 把奈

佐藤ことは

杉原 心渚

鈴木 綾乃

新井結姫乃

前川 愛莉

清水ひなた

玉木 真名

古川咲友梨

谷口 柚羽

田中 乃愛

坊垣 妙泉

吉田 鈴

熊谷 朱莉

廣川王賀蘭汗造  
弥勒像願令

愛知県知事賞 高一 吉田 夢叶

龍池望五雲

岐阜県知事賞 中二 池田 百音

惠風和暢

愛知県知事賞 中三 乾 衣里

新春平和

岐阜県知事賞 小五 小野 心結

富士雄姿

愛知県知事賞 小六 今西ちはる

龍翔鳳舞

三重県知事賞 中一 石川 直弥

不盡讚歌

岐阜県知事賞 高三 真野 青空

春の富士

三重県知事賞 小四 志智 悠真

記念賞  
高校三年 藤田 弥由  
高校二年 櫛部 有香  
小学三年 宮田 慶治

中学二年 高田奈桜子

小学二年 熊谷 朱莉

### 名古屋市教育局委員会賞

高校二年 岡部 陽菜

中学二年 水野 冴音

小学三年 宮田 慶治

### 中日新聞社賞

高校三年 熊澤 宏斗

高校一年 川村 拓人

中学三年 林 小葉

### CBCテレビ賞

高校二年 新井結姫乃

中学三年 前川 愛莉

中学二年 清水ひなた

小学一年 玉木 真名

小学六年 古川咲友梨

小学一年 谷口 柚羽

小学六年 田中 乃愛

坊垣 妙泉

吉田 鈴

三重県知事賞 小三 石川穂乃佳  
**生きこる力**  
 三年 石川穂乃佳

名古屋市長賞 高二 藤村 真央  
**始平公**  
 係一區  
 夫宜觀在則榮宗尊容像不陳則榮之  
 必是以其願於上論道形數于下榮于  
 大代茲勿願作比丘慈成自以彰宗本流  
 處遠品運率竭誠心為國進石堂寺本流  
 皇恩有資來宗父使持節光緒大皇帝

名古屋市長賞 中一 松下 莉緒  
**不断の努力**  
 中一 松下 莉緒

名古屋市長賞 小五 原口ひより  
**少年の夢**  
 小五 原口ひより

愛知県議会議長賞 小六 江川 千紘  
**瑞気集門**  
 六年 江川 千紘

岐阜県議会議長賞 高三 辻 永恋  
 不上殿州也務航老石向程情純  
 龍寝高身柳種烟推心深堂長  
 天何去務過在檀中 皇室景 永恋

三重県議会議長賞 中二 倉知 咲奈  
**胎藏灌頂**  
 中二 倉知 咲奈

名古屋市会議員賞 高一 鬼頭 莉央  
**顛鳳翔 參軍類 通悟頗 善繇書**  
 太子洗馬 鄭王府司馬 竝不幸  
 短命通明 好屬文 項城尉

名古屋市会議員賞 中三 福田 あみ  
**暁天の鯨城**  
 中三 福田 あみ

名古屋市会議員賞 小二 大元陽菜乃  
**あんぜん**  
 二年 大元ひなの

愛知県教育委員会賞 高二 蟹江 香風  
**雨篷煙棹 松帆遠眺**  
 馨昏鐘 佛屋深

愛知県教育委員会賞 中二 中田 帆香  
**龍池望五雲**  
 中二 中田 帆香

愛知県教育委員会賞 小一 杉江 華歩  
**ひかり**  
 小一 杉江 華歩

岐阜県教育委員会賞 高三 半谷 夏実  
 身先任務 務用好花 繁榮學業 出修 悠悠  
 生不和 善應 依修 依修 依修 依修 依修  
 第百八 籬 籬 籬 籬 籬 籬 籬 籬

岐阜県教育委員会賞 中一 小池 美心  
**初春歡喜**  
 中一 小池 美心

岐阜県教育委員会賞 小三 坂 梨湖  
**月あかり**  
 三年 坂 梨湖

三重県教育委員会賞 中三 鷺野 眞歩  
**理想の実現**  
 三年 鷺野 眞歩

三重県教育委員会賞 中二 入江 美羽  
**博愛精神**  
 中二 入江 美羽

三重県教育委員会賞 小四 前田 莉歩  
**花々くく里**  
 四年 前田 莉歩

名古屋市長賞 高二 岡部 陽菜  
**榮陽太守 孫道務**  
 寧遠將軍 中散

名古屋市長賞 中二 水野 冴音  
**輝く未来**  
 中二 水野 冴音

- 名誉会長賞 宮原 伶歌 黒田 壮真  
 ○高校三年 山内 咲季 坂本 柚季  
 加賀 滉將 ○中学二年 白井 花奈  
 ○高校二年 上原 彩寧 高木 優衣  
 大久さくら 太田 明里 坪倉 寧々  
 木下 愛莉 緒川 彩子 難波あやね  
 熊谷 京香 櫻森 舞 ○小学五年  
 小林 美優 加野 葵子 齊藤 和奏  
 塩野谷日向 清原咲貴子 棚橋こども  
 城 有里奈 杉田 和奏 松岡 佑  
 野田 桃加 杉本 咲恵 ○小学四年  
 宮崎 菜央 奈良 泰河 中川 歩果  
 森 彩乃 林 敦也 中村 奎太  
 ○高校一年 藤川 詩野 星野 めい  
 伊藤 心花 水島 凜音 ○小学三年  
 稲垣 和佳 皆川あかり 越野 翔馬  
 宇佐見真吾 宮脇 梨乃 渡邊 瑛介  
 川本 ノア 森 日菜乃 ○小学二年  
 成瀬 若菜 吉田 莉子 井上 涼介  
 橋本 京佳 ○中学一年 西村 莉愛  
 早崎 理沙 池田 瑠華  
 ○中学三年 上田 愛莉  
 青山 莉子 大橋 一輝 理事長賞  
 石塚 千紗 小南 楓花 ○高校三年  
 小栗 琉楠 櫻井 香帆 北村 美優  
 神谷 桃花 田中 芽生 塩満 舞姫  
 鈴木 心嬉 富田 朱音 ○高校二年  
 戸田 小春 早川桜友里 瀬田 夏鈴  
 鳥羽陽菜乃 本梅 駿哉 円山 花央  
 豊島 思歩 ○小学六年 ○高校一年  
 中西 匠見 石井 匠叶 安達 夕貴  
 野村 和花 石垣 青海 加藤 徳真  
 馬場 愛理 浦崎 帆波 坂口 穂佳  
 東 隼史 大島 莉空 島澤 美心



名古屋市教育委員会賞 小三 宮田 慶治

三年 吉田慶治

# 平和の光

記念賞 高三 藤田 弥由

秋の心と春の心とを  
つなぐ時を  
読書は  
つなぐ

記念賞 高二 櫛部 有香

# 平櫛請玉鏤 石造此弥

有香

記念賞 高二 中西 真尋

友と道祝融之態方智藤奥中區若  
閑庭夢昇峰殊唯下飛心歸 敬慕  
湖南靈氣滿蒼梧金書縹緲 壬午年

記念賞 高二 野口 瑞葵

多蒙東山古來情 形多難保風本太湖  
羽衣是極然 形多難保風本太湖  
智心肯以必開古來 在聖精舍 瑞葵

記念賞 高二 長谷川千紗

# 巖殿虹暈彩

長谷川千紗

記念賞 高一 青山 芽生

古人多死生六大笑以不痛哉每  
攬昔人與感之由若合一契未嘗  
不悲文嗟悼不能喻 芽生

高根來寒月修青所 岩頼飄  
別御物皆香榻度座先海柏使江  
路佛舍翻過木齊一身無謙心作

記念賞 高一 鈴木 明依

# 率渴誠心為國造 石室寺糸谷皇恩

記念賞 高一 水野帆乃香

史書藝文大作收漢雁多東國字意  
刻其城天居宴訓梅萃佐壽對時和  
相介也合聲響驟必取橋為隨勢作

記念賞 中三 伊藤 優乃

# 國際親善

伊藤 優乃

記念賞 中二 大窪 樹音

# 理想達成

大窪 樹音

記念賞 中二 酒井 愛菜

# 初空銀世界

酒井 愛菜

記念賞 中二 土本 知央

# 夢の實現

土本 知央

- |       |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 橋本 藍  | 丹羽 奏心 | 長東 奈々の | 中澤 夏帆 | 坪内 和馬 | 田中 秀一 | 杉山 桃萌 | 衣笠 京花 | 可知 永蓮 | 遠藤 香南 | 市岡 陽菜 | 石島 妃菜 | 荒木 悠亜 | 阿部野乃花 | 山口 奈央 | 坂 麻由香 | 新井本佳和 | 金藤 康祐 | 京井陽菜乃 | 加藤 有稀 | 甲斐田寧々 | 大原 悠  | 岩田 実華 | 稲垣 瑠美 | 伊藤 比奈 | 伊藤 知晃 | 山田 花輪 | 山田 結月 | 山門 美晴 | 矢野 香芽 | 三島 桜  | 細野 心愛 | 久野帆乃香 | 林 悠里菜 |
| 足立 竣祐 | ○小学四年 | 吉田 結衣  | 宮倉 未帆 | ○小学五年 | 松本 悠希 | 古市 瀨理 | 長谷川和奏 | 長谷川瑠香 | 高野 葵実 | 小野 彩葉 | 伊藤 灯海 | ○小学六年 | 山本 琉稀 | 望月 瑠夏 | 古川 紗妃 | 平手 那宙 | 久田 海雲 | 長谷川千紗 | 鷺見 泰  | 社本 彩嶺 | 北村 茉悠 | 折笠 莉那 | 大西 梨心 | 井上叶和子 | 山田 結月 | 山門 美晴 | 山門 美晴 | 矢野 香芽 | 森川 柚菜 | 宮田 莉子 | 宮川 結羽 | 松原 未來 |       |
| 水野夢実菜 | 堀内 梓未 | 竹岡 桂佑  | 高橋 伶実 | 高浪 鼓子 | 高木 瑛香 | 須山 新奈 | 杉本くるみ | 清水 麻世 | 佐藤茉莉花 | 小瀬 大輝 | 小島 史央 | 岡崎 友南 | 大崎 珠季 | 森咲 夕美 | 本梅 豪輝 | 久田 海雲 | 久田 帆夏 | 柘植 清晏 | 竹澤 隼  | 高田 隼  | 鷺見美也妃 | 近藤 幹弥 | 垣田 幸海 | 岡田 蒼来 | 江上 凌太 | 江上 凌太 | 江上 凌太 | 前田由梨夏 | 岡村 彩那 | ○小学三年 | 川嶋 愛暉 | 小畑 初芽 |       |
| 伊藤 美来 | 伊地知優菜 | 板元 健太  | 磯部 文月 | 大矢 幸奈 | 大曲 智葉 | 大鹿 真央 | 上野瑛里菜 | 岩間 有沙 | 井深 優晴 | 伊奈 杏紗 | 伊藤 瀬奈 | ○小学三年 | 吉丸 詩歩 | 横山 遥星 | 宮崎 愛望 | 松原ひなた | 古河 魁文 | 仲田 沙絵 | 力 慶輔  | 竹内 遥香 | 川上 尊己 | 加藤 小京 | 岡田 蒼来 | 江上 凌太 | 江上 凌太 | 江上 凌太 | 酒井美沙希 | 荒井秋日子 | 横山 りか | 横井 璃子 | 宮川ひまり |       |       |
| 橋本 陽葵 | 野田 百花 | 新原 凜華  | 成岡 樹摩 | 中根 知咲 | 長瀬 瑛飛 | 長島みゆう | 鳥居 千乃 | 富澤 祐次 | 児野 瑞姫 | 吉川 綾乃 | 山下 杏鈴 | 山岸 陽菜 | 瀧日 彩愛 | 高木 莉奈 | 砂田 祐来 | 鈴木真里江 | 鈴木 魁津 | 馬場 帆南 | 西脇 杏夏 | 西脇 優佳 | 中川 美咲 | 土本 桃花 | 武田 直之 | 高橋 和真 | 高橋 和真 | 酒井美沙希 | 酒井美沙希 | 近藤 修平 | 後藤 千紗 | 久野 史織 | 川上 優空 |       |       |

記念賞 中一 山口 結愛  
**真理追求**  
 中山口 結愛

記念賞 小五 井上 陽斗

中日書道会賞 高二 榊原 理子  
**世界の国**  
 五年 井上 陽斗

中日書道会賞 中三 川越 詩歩

中日書道会賞 中二 山田 朱莉  
**瑞雲鶴舞**  
 中三 川越 詩歩

中日書道会賞 中二 山田 高太郎

中日書道会賞 中二 渡邊 菜々葉  
**笑門来福**  
 二年 渡邊 菜々葉

中日書道会賞 中一 青山 もな

中日書道会賞 中一 小川 嵩太郎  
**新春初夢**  
 中一 青山 もな

中日書道会賞 中一 篠畑 侑奈

中日書道会賞 中一 篠畑 侑奈  
**風神の舞**  
 中一 篠畑 侑奈

中日書道会賞 中一 内藤 峻晴

中日書道会賞 中一 内藤 峻晴  
**未来の夢**  
 六年 内藤 峻晴

中日新聞社賞 高三 熊澤 宏斗  
**折梅和薄雪**  
 高三 熊澤 宏斗

中日新聞社賞 高二 清水 紅花

中日新聞社賞 高二 清水 紅花  
**早春の光**  
 中一 小川 嵩太郎

中日新聞社賞 中一 篠畑 侑奈

中日新聞社賞 中一 篠畑 侑奈  
**風神の舞**  
 中一 篠畑 侑奈

中日新聞社賞 中一 内藤 峻晴

中日新聞社賞 中一 内藤 峻晴  
**未来の夢**  
 六年 内藤 峻晴

中日新聞社賞 中一 渡邊 ももか

中日新聞社賞 中一 渡邊 ももか  
**世界平和**  
 小六 渡邊 ももか

中日新聞社賞 中一 渡邊 ももか

中日新聞社賞 中一 渡邊 ももか  
**世界平和**  
 小六 渡邊 ももか

中日新聞社賞 中一 渡邊 ももか

中日新聞社賞 中一 渡邊 ももか  
**世界平和**  
 小六 渡邊 ももか

- 林 咲歩 加藤 楓栂 牧野 晃士 武田 唯愛 熊崎 央乃 服部 彩世
- 樋田 沙朱 加藤 有真 松浦 奈央 小池 湊人 林 陽菜里
- 平本 智嗣 加藤 陸登 丸藻 彩菜 豊島 愛生 柴田 菜央 福岡 梨乃
- 福岡 里桜 神谷 真央 宮本 彩羽 内藤 暖人 柴田 侑奈 藤田 ちず
- 藤田 亜子 龜山 花 武藤 麻央 中川 実美 志村 沙那 舟橋 咲希
- 升本 佳那 神戸 彩葉 村瀬 敦哉 中島 星夏 杉浦 理央 宗近 咲希
- 松井 心優 木村 心音 森田 愛琉 長野 紫恩 林 伶奈 千野 環 山田龍ノ伸
- 松原 愛莉 黒柳 美月 山口 美咲 山崎 絢音 樋口 英里 辻 秋乃 吉川 菜月
- 三浦 仁和 高 伊莎 山崎 絢音 横江優衣香 平野 蒼葉 富田 結華 川本慎之祐
- 水野 未花 五島舜太郎 近藤 紗希 吉野 晴翔 鮎田 葉奈 中村心乃香 北口 莉子
- 武藤 樹里 近藤 佑香 頼経ひなの 若田 侑磨 前田 実咲 畑佐 流音 橋本穂乃花 日下部咲歩
- 村瀬 優心 佐々木果梨 澤田あやか 青木 千春 松浦 碧依 末廣 心結 長谷川 諒
- 山内 咲環 山下さくら 澤田あやか 清水 聖菜 石川 楓子 溝延 桃 堀 華代 日比野頌子
- 山下 さくら 澤田あやか 清水 聖菜 石川 楓子 溝延 桃 堀 華代 日比野頌子
- 山田 紗菜 清水 聖菜 石川 楓子 溝延 桃 堀 華代 日比野頌子
- 山本 航史 白木明日実 伊藤 風沙 森下 玲 本間 琴子 森本季依奈
- 山本 はな 杉山 柊二 今井 彩乃 森永 愛 南 陽順 宮地 理央 横田 稟乃
- 湯浅みのり 杉山 さら 上田 希美 李 昊沢 山田 妃夏 加藤 樹里
- 横山百合香 鈴木 愛來 内堀 稟子 脇田 時名 山田 涼子 北川 奏翔
- 吉川 多優 高窪 心芭 浦 愛理 青木 千鶴 山田 涼子 北川 奏翔
- 吉田 花 高橋 直巳 大津 和香 青木 千鶴 山田 涼子 北川 奏翔
- 蘭光 希明 高橋 妃那 岡田 芙佳 石川 蒼來 大飼 菜沙 高木麻友子
- 脇阪 明莉 高村 芭奈 小野木理人 伊藤 悠利 井上 紗希 西野 陽翔
- 明石 真依 竹田 あい 加藤 彩羽 入船 雅 井上 莉花 村岡 連人
- 浅井 莉子 土本 夏美 加藤 希実 太田 陽莉 川下 紗季 中島 千晴
- 糸数 心音 戸谷 心美 北川 莉衣沙 小川心々菜 篠田 悠斗 林 真央
- 糸川 詩乃 豊原 芽生 肥沼 陽斗 小柳津実桜 清水 茉友 田中 愛菜 水本 周佑
- 稲葉 可純 中村 楓和 河野 佑郁 後藤 夢菜 鎌田 結愛 田中 愛菜 水本 周佑
- 猪池 舞 成田 弥優 志津 歩実 川上 琴葉 川村 倫大 ヤツプ悠楓
- 井村 風香 平岡 莉子 鈴木 奏瑛 鈴木 美遥 西 光志郎 早川 衣
- 上野 慶太 平澤由妃乃 藤島 莉緒 瀬戸山 陽 北川 こと美 西塚 千裕 早川 衣
- 宇多賀史緒 藤島 莉緒 瀬戸山 陽 北川 こと美 西塚 千裕 早川 衣
- 大山 未羽 穂積 滂奈 瀬戸山 陽 北川 こと美 西塚 千裕 早川 衣

中日新聞社賞 高一 川村 拓人

級造石像一匠類  
國柱丸隆三拓人監

中日新聞社賞 中三 林 小葉

希望に輝く春  
中三 林 小葉

中日新聞社賞 中三 松野 莉子

薫風青雲  
中三 松野 莉子

中日新聞社賞 中三 森島 菜歩

不斷の努力  
中三 森島 菜歩

中日新聞社賞 中二 大橋 莉々

希望新春  
中二 大橋 莉々

中日新聞社賞 中二 沢田 麗羽

輝く未来  
中二 沢田 麗羽

中日新聞社賞 中二 高田奈桜子

富岳初日影  
中二 高田 奈桜子

中日新聞社賞 中二 花岡 千結

白雪輝く富士  
中二 花岡 千結

中日新聞社賞 中一 大野 彩芭

天地清和  
中一 大野 彩芭

中日新聞社賞 中一 中村 朱里

博愛精神  
中一 中村 朱里

中日新聞社賞 中一 松浦 佑樹

理想実現  
中一 松浦 佑樹

中日新聞社賞 小六 足立 芽海

五色の雲  
小六 足立 芽海

中日新聞社賞 小六 太田 小晴

行雲流水  
小六 太田 小晴

中日新聞社賞 小六 加藤 澁大

美しい心  
小六 加藤 澁大

奨励賞

Table with columns for award categories (High School 3rd Year, High School 2nd Year, Middle School 3rd Year, Middle School 2nd Year) and lists of names.

中日新聞社賞 小六 柴田菜友子

豊作祈願  
六年 柴田菜友子

中日新聞社賞 小六 野垣 梨紗

温故知新  
小六 野垣 梨紗

中日新聞社賞 小五 板津 莉子

初光の海  
小五 板津 莉子

中日新聞社賞 小四 浅井 柚衣

新たな年  
四年 浅井 柚衣

東海テレビ放送賞 高二 岡田 由香

東海テレビ放送賞 高二 岡田 由香

東海テレビ放送賞 高一 平田 直美

福壽海無量  
高一 平田 直美

東海テレビ放送賞 中三 大澤 遥

節長猷為  
中三 大澤 遥

東海テレビ放送賞 中二 石川 千紗

笑門来福  
二年 石川 千紗

東海テレビ放送賞 中二 熊澤 莉子

忍耐強い人  
中二 熊澤 莉子

東海テレビ放送賞 中二 若林 心花

白鶴舞姿  
中二 若林 心花

東海テレビ放送賞 中一 加藤 把奈

初空春光  
中一 加藤 把奈

東海テレビ放送賞 小六 佐藤 ことは

宇宙旅行  
六年 佐藤 ことは

東海テレビ放送賞 小六 杉原 心渚

夢の実現  
六年 杉原 心渚

東海テレビ放送賞 小六 鈴木 綾乃

夢の実現  
六年 鈴木 綾乃

宮地 咲羽	宮崎 蓮士	宮崎 悠愛	宮崎小菜津	箕浦 心春	水野 珠	三澤ゆり子	三浦 奈月	三井 順子	丸山 彩愛	間宮 大陽	松岡 心音	牧 秀磨	北條 七彩	不破日菜子	古田 柚弥	古川 綾香	二橋 心	藤井 友亮	藤井 茜里	福島 百花	深津 有佐	平野 沙和	樋口 咲那	林 美憂	早川 由莉	服部 夏海	野間 理央	野田 瑛斗	布目 凌聖	丹羽 美結	丹羽 心愛	西村 采桃	西田幸志郎			
加藤 亜美	加地眺太郎	奥田 悠月	小木曾 空	岡島 瑚姬	江口 真央	上野 桃歌	伊藤 陽南	石丸 摩耶	飯島ひかり	飯尾 心海	安藤 芭奈	綾戸 美月	浅野 芽南	浅井 美咲	秋田 征音	陸 安慈	山本 琴乃	山本 瑛心	山寺 由夏	山田 郁乃	山田 真穂	山下 瑚遥	山口 真輝	山口 紗奈	柳生ころも	八木 美空	森 百桃香	室節 千遥	村松 咲希	村田 優芽	村井 美公	虫上 咲希				
中川 優美	直野 姫子	徳川 貴一	津田 茉諒	田中 杏	立岩 心月	高木 結斗	関戸 理伊	鈴木 結衣	鈴木 楓果	鈴木 智葉	鈴木 彩矢	杉野 心音	清水 美胡	篠田 紗穂	沢田 樹泉	佐藤 心	砂川 詩	酒井 波	駒田 甲斐	後藤 美音	比嘉 沙来	早川 理彩	濱田 蒼海	木部このみ	川田 詩	川尻 和奏	川井 麻衣	神谷 柚寧	鹿又みのり	金子 莉奈	加藤里依紗	加藤 友梨	加藤あや美			
吉野 友海	吉川 陽香	吉岡 柚子香	横田 胡桃	安井萌乃香	森 唯人	室 綾香	村上 千歩	皆川 夏音	水溪 魁志	三浦 麻帆	松原 慶治	松葉 百思	正中みゆき	榎木 真緒	前岡由愛来	堀田 真生	舟橋 空良	福田 莉子	深井 唯翔	比嘉 沙来	早川 理彩	濱田 蒼海	野々山真悠	木部このみ	川田 詩	川尻 和奏	川井 麻衣	神谷 柚寧	鹿又みのり	金子 莉奈	加藤里依紗	加藤 友梨	加藤あや美			
小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃	小島 梨乃
星野 桜	不破 沙月	藤原暖乃子	藤村 結愛	藤井ゆりか	平野 結菜	早川 幸来	服部 行彰	服部 桜穂	八野田将大	橋本 小春	成田 優杏	中山 彩羽	中野志緒里	中野志緒里	長友 美空	内藤 響希	富田 心菜	富井 良菜	寺山 怜見	今井杏紀奈	比嘉 沙来	早川 理彩	濱田 蒼海	野々山真悠	木部このみ	川田 詩	川尻 和奏	川井 麻衣	神谷 柚寧	鹿又みのり	金子 莉奈	加藤里依紗	加藤 友梨	加藤あや美		
星野 桜	不破 沙月	藤原暖乃子	藤村 結愛	藤井ゆりか	平野 結菜	早川 幸来	服部 行彰	服部 桜穂	八野田将大	橋本 小春	成田 優杏	中山 彩羽	中野志緒里	中野志緒里	長友 美空	内藤 響希	富田 心菜	富井 良菜	寺山 怜見	今井杏紀奈	比嘉 沙来	早川 理彩	濱田 蒼海	野々山真悠	木部このみ	川田 詩	川尻 和奏	川井 麻衣	神谷 柚寧	鹿又みのり	金子 莉奈	加藤里依紗	加藤 友梨	加藤あや美		

CBCテレビ賞 高二 新井結姫乃

**獨坐觀心**

小六 坊垣 妙泉

CBCテレビ賞 中三 前川 愛莉

**不動の決意**

小六 吉田 鈴

CBCテレビ賞 中二 清水ひなた

**限界に挑戦**

小二 熊谷 朱莉

CBCテレビ賞 中二 玉木 真名

**龍池望五雲**

小六 田中 芳季

CBCテレビ賞 中二 古川咲友梨

**山河四望春**

小六 三澤歩乃佳

CBCテレビ賞 中一 谷口 柚羽

**富士白雪**

小六 丸山 凱大

CBCテレビ賞 小六 田中 乃愛

**三河の城**

小六 森 葵

CBCテレビ賞 小六 坊垣 妙泉

**新春雲海**

小六 山本 紗菜

CBCテレビ賞 小六 吉田 鈴

**新春の空**

小六 楊 懿童

CBCテレビ賞 小二 熊谷 朱莉

**ふじの山**

小六 山本 紗菜

前川 志穂 吉田 ゆい 瀨瀬 莉愛

真下 夢菜 渡邊 瑠乃 小浦 聡真

松田 桃莉 ○小学五年 越野いずみ

松本 芽咲 石井 理乃 小薮 結子

水谷 碧衣 石黒 玉緒 近藤みらい

水谷 篤希 伊藤 美月 酒井 結生

水野 美希 岩本佳央梨 坂口 絢音

宮部 珠妃 宇井 望寿 澤田はるか

村山 心愛 宇佐見亜子 三徳 真依

森 優葉 宇田 栞乃 柴田 彩音

森 悠月 梅田 はな 下川 夏奈

森島 杏 岡部 希衣 白井 海翔

森本 彩月 岡村 柚那 杉浦 咲帆

森脇 悠月 奥田 玲 杉本結羽花

安田 直哉 嘉津山紗那 鈴木 香湖

山田心々奈 金谷 莉果 高木 彩夏

山本 桜 神谷 美帆 高比良柑奈

山本 修矢 木全 絢愛 田中みのり

吉川 和花 熊谷 紗櫻 田中 優羽

田中 芳季 ○小学四年 三澤歩乃佳

土井 那月 有馬 采希 三輪 華子

土田 希龍 安藤 千穂 山口 乃慧

長江 都子 石山 結子 山下 美凜

中嶋 聖穂 井上 詢介 山本 紗菜

南谷 芽 大久保知咲 楊 懿童

西岡 京香 大山 湊真 吉澤 那緒

丹羽穂乃佳 小山内辰樹 ○小学三年 浅野 楓

長谷川葵々 加藤心晴 安藤 大地

服部なつみ 加藤ひばり 川島 新奈

早川 りほ 原 彩乃 國枝 世那

樋口 みゆ 國澤 俊太 稲垣 聡真

平林 汐菜 黒石 瑚乃 江川 忠弘

廣田 結香 酒井 美玲 岡本 奈那

藤井 莉子 真田 千晴 梶山 紗花

舟木 亮真 重村 悠翔 門畑 咲希

古田 万捺 篠原 真結 加畑 蒼亮

星崎 輝斗 柴田 陽菜 河本恭士朗

堀内 柚希 新谷 莉乃 久保田陽莉

堀山 陽乃 田内由希子 小林うらら

前田 蒼依 高橋 杏奈 小林 玲菜

増田 花 田中 綾恵 小山 真央

水島 杏莉 田中 愛菜 塩澤 雅生

溝口 笑空 谷口 稚奈 城處 笑里

三井 彩加 富岡 希咲 杉田 悠月

宮永萌々愛 中村 大輝 竹本 珠里

森越 彩羽 新浪瑚々乃 田中 優子

柳田 花帆 登田 晟路 津田 千嘉

山本 結心 平岩 愛梨 土屋 舞桜

山本 琥大 藤田 奏 野木 悠輝

吉永 和緒 藤村 昭仁 廣川 晃大

渡辺 碧咲 松本 紗菜 福田 ゆり

松井 希羽 松谷 杏愛

応募点数 …… 13,083点

衆議院議長賞…………… 1名	名古屋市会議長賞…………… 3名	名誉会長賞…………… 76名
参議院議長賞…………… 1名	愛知県教育委員会賞…………… 3名	理事長賞…………… 75名
文部科学大臣賞…………… 1名	岐阜県教育委員会賞…………… 3名	推薦…………… 318名
愛知県知事賞…………… 3名	三重県教育委員会賞…………… 3名	奨励賞…………… 578名
岐阜県知事賞…………… 3名	名古屋市教育委員会賞…………… 3名	特選…………… 990名
三重県知事賞…………… 3名	記念賞…………… 15名	準特選…………… 3,895名
名古屋市長賞…………… 3名	名古屋書道会賞…………… 10名	秀逸…………… 3,282名
愛知県議会議長賞…………… 1名	中日新聞社賞…………… 20名	佳作…………… 2,577名
岐阜県議会議長賞…………… 1名	東海テレビ放送賞…………… 10名	入選…………… 1,194名
三重県議会議長賞…………… 1名	CBCテレビ賞…………… 10名	

団体賞

第一位	墨游会
第二位	牛刀会
第三位	書玄会
第四位	牧書会
第五位	大朴会

読売書法展・毎日書道展  
本年度当番審査員

第三十九回 読売書法展

◆審査顧問

樽本 樹邨

◆特別賞選考委員

◆当番審査員

岡野 楠亭

◆漢字

伊藤 新川

遠藤 栄久

梶山 夏舟

加藤 紫雲

神谷 采邑

佐久美泉涯

菅生 攝堂

高桑 巖風

中条 彰山

水野 峯翠

家田 聲子

山本 雅月

香月 久遠

田中 修文

日比野妃扇

第七十四回 毎日書道展

◆会員賞選考委員

◆漢字

籠瀬 提花

◆近代詩文書

川合 玄鳳

◆当番審査員

◆漢字I類

鈴木 史鳳

伊藤 吟雪

高橋 栖雲

◆近代詩文書

竹内 峰敏

高橋 栖雲

廣澤 凌舟

原田 凍谷

水谷 海越

◆大字書

水谷 海越

第九回 日展 名古屋展 入賞者

名古屋市長賞・CBC賞を受賞して



名古屋市長賞・CBC賞  
上小倉 積山

この度、第九回日展名古屋展において名古屋市長賞とCBC賞とともに受賞できましたこと、誠に身に余る光栄と感じております。これもひとえ



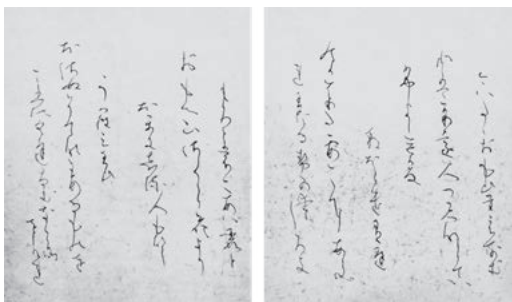
中日新聞社賞を受賞して



中日新聞社賞  
水野 峯翠

第九回日展名古屋展におきまして栄えある「中日新聞社賞」を賜り、身に余る光栄と厚く御礼申し上げます。これもひとえにご指導賜ります現師匠、子ども頃より温かく見守り、育てて頂きました諸先輩方のお陰と深く感謝いたしております。筆との交わりは、七歳より通

生のもとで始まり、現在までかな一筋の道歩んでまいりました。今回の作品は、小倉百人一首より二四首を、細字で帖仕立てにいたしました。文字の粗密・濃淡を意識を向

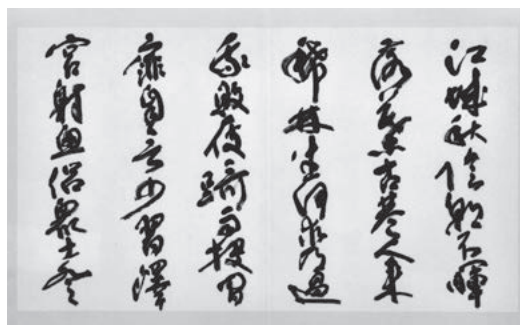


東海テレビ放送賞を受賞して



東海テレビ放送賞  
林 春翠

この度、第九回日展名古屋展におきまして東海テレビ放送賞をいただき



今回の作品は、高青邱の二三四字の詩を帖に仕上げました。日頃王鐸の行草を勉強してはいますが、勉強不足・集中力の無さ・力の無さなどをひしひしと感じ、暗中模索の中何とか仕上げました。今回の受賞を励みに、更なる研鑽精進して参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。誠にありがとうございます。

中日書道展 事務局業務

Table with 3 columns: 担当部 (Responsible Dept), 作業 (Task), and details. Rows include 総務部 (General Affairs), 庶務部 (Secretariat), 企画部 IT部 (Planning/IT), 経理部 (Finance), 会員部 (Members), and 第1・第2事業部 (Business Divs).

Table with 3 columns: 担当部 (Responsible Dept), 作業 (Task), and details. Rows include 研究部 (Research), 第1・第2教育部 (Education), 褒章部 (Awards), 渉外宣伝部 (Publicity), 記録統計部 (Records/Stats), 編集部 (Editing), 厚生部 (Welfare), and 各支部部長 (Branch Chiefs).

事務分掌記載部業務

Table with 2 columns: 担当部 (Responsible Dept) and 作業 (Task). Includes 書類搬入整理部 (Document Handling) and 展覧会要項・事務分掌・出品票等発送 (Exhibition Details/Dispatch).

新入会員紹介 (四月分)

- List of new members by branch: 本部 (Main Office), 一宮支部 (Ichinoe), 岐阜支部 (Gifu), 中勢支部 (Chusei), 北勢支部 (Kishu), 濃飛支部 (Nohi), 東三支部 (Toosan), 西三支部 (Seisan), 半田支部 (Hantan).

## 塾総合保険のご案内

本会では、書道塾を経営されている会員の先生方のバックアップと、塾生の安全と安心のために「塾総合保険」を行っております。

生徒一名に付年額一四〇円で大きな保障となっております。年度途中での加入もできます。保険期間は、その年の十月一日から翌年十月一日までとなります。

この保険は、本会と保険会社が直接契約しているものであるため、少人数での加入ができ、有利な条件となっております。事故はいつ起こるか分かりません。生徒さんの安心と安全のために是非ご加入ください。又既に加入されている皆さんは十月一日が期限ですから、忘れずに契約更新を行って下さい。資料請求、申し込みは本部まで。

補償内容			
賠償事故	塾経営者	対人賠償てん補 限度額	1名 2,000万円 1事故 1億円
		対物賠償てん補 限度額	1事故 100万円
	生徒 法定監督義務者	賠償責任てん補 限度額	1事故 2,000万円
傷害事故	死亡・後遺障害保険金額		100万円
	入院保険金日額		1,000円
	通院保険金日額		500円
	保険料(生徒1名につき年額)		140円

(注) 賠償事故の場合、1事故につき1,000円を自己負担していただきます。生徒の賠償責任てん補限度額は、対人、対物賠償合わせて1事故のみの適用となります。

## 社中展・個展のご案内掲載について

本会会員による書展のご案内を、会報及びHPにて掲載させていただきます。

会報掲載には展覧会案内原稿、HP掲載には展覧会案内ハガキをお送りください。尚、展覧会原稿及びハガキは、必ず封書にてお送りください。次号掲載は、九月中旬〜十一月中旬開催の展覧会となります。

お申し込みは、七月末日までに本部までお願いします。

編集部

## 会費未納の方へお願い

新年度がスタートしました。

令和四年度会費未納の方は、至急お納め下さい。

(正会員及び準会員の方で未納の方)

本部会員は、郵便振替 0089016114420。

支部会員は、各支部会計担当者にご連絡下さい。

## 住所変更、改姓、改号、社中変更等

変更事項は本部まで一報下さい。

052(583)1900

## 訃報

心より哀悼の意を表しご報告申し上げます。

(厚生部)

- 1月17日 常任顧問 土屋 陽山氏 享年95歳
- 2月20日 顧問 佐々木富邦氏 享年96歳
- 3月21日 正会員 鈴木 美峰氏 享年71歳



## あとがき

中日会報二〇八号をお届け致します。

令和五年の新年度が始まりました。その始まりに、理事長伊藤仙游先生の『岐阜県芸術文化顕彰』常任顧問近藤浩平先生の『愛知県芸術文化選奨』ご受賞の報告が出来ますことは、中日書道会にとりまして嬉しい事となりました。両先生の弛まぬ書への情熱の賜物とお慶びを申し上げます。

中日書道展の出品締切も済み、展覧会の成功に向け、着々と準備が進んでおります。本年は、三会場に於いて掛け替え陳列も含み、連続一カ月余りに及ぶ開催となります。会員・協賛会員の皆様には、格別のご協力を宜しくお願いいたします。

コロナ感染者もまだまだ落ち着いた数とまでは言えませんが、感染対策規制も徐々に解除されて各個人での裁量に任ざれてまいります。各事業ご参加時には、適切な予防対策をお心がけ下さい。(編集部)

ホームページアドレス  
http://www.cn-sho.or.jp

メールアドレス  
info@cn-sho.or.jp



# 支部だより(令和四年度) 下半期

## 一宮支部

### ●研修会

日時 令和四年十月二十九日(土)  
タイトル 七宝焼き体験  
ところ 七宝焼きヴィレッジ  
参加者 二十四名(内、会員外八名)  
一宮支部初の現地集合現地解散の研修会でした。参加の皆様が各々希望に沿った七宝焼き体験を楽しみました。

### ●第六十七回一宮支部展

日時 令和四年十一月二十六日(土)  
会場 一宮スポーツ文化センター  
出品者 支部員 一六七名  
青年部 個人六名 二団体 計四十二名

第七十七回一宮市芸術祭参加事業の一環であり、本部からは理事長伊藤仙遊先生はじめ、副理事長岡野楠亭先生、同加藤裕先生、同松下英風先生の玉作を賜りました。陳列作業も手際よく進み、一宮支部員の「一致団結」を痛感致しました。

### ●第五十回記念一宮支部学生書道展

支部展と同時開催  
総出品点数 二、九八九点  
今年度は第五十回記念に当たり、役員会の総意に基づき展示対象の出品者へはご自



第67回支部展



第50回記念  
一宮支部学生書道展



令和4年度支部講演会



令和4年度支部集会

分の出品作縮小コピー印刷をかけた賞状をお渡し出来、記念展に相応しいものとなりました。  
相当役員をはじめ皆様のご協力のお陰と深く感じ得ました。

### ●支部講演会

日時 令和五年一月二十九日(日)  
会場 一宮スポーツ文化センター  
講師 一宮市博物館学芸員 神田年浩さん  
演題 「船橋物語」美濃路と各地の船橋の歴史」

聴講者 六十二名(内、会員外九名)  
「船橋とは?歴史・美濃路と各地の船橋」等々。船橋に纏わるお話を聴き取る機会を得ました。橋が当たり前の時代、とても興味深い内容でした。

### ●支部集会

日時 令和五年一月二十九日(日)  
会場 支部集会Ⅱ一宮スポーツ文化センター  
出席者 支部集会Ⅱ七十九名  
委任状Ⅱ一九五名

本部より企画委員長大池青岑先生、総務部長天野白雲先生にご臨席賜り、令和四年度事業報告と令和五年度事業計画が承認されました。尚、今年度は役員改選で次期支部長に、村上史麗氏を選出されました。

## 半田支部

### ●第五十六回半田支部展

会期 九月二十四日(土)  
九月二十五日(日)  
会場 半田市福祉文化会館  
出品数 七十四点

本部から伊藤仙遊理事長、岡野楠亭副理事長、加藤裕副理事長、松下英風副理事長の玉作を賛助出品していただき会場に花を添えていただきました。今年度は台風の接近があり開催を心配しましたが早目に台風が行った為、会期中は台風一過の快晴でした。来場者三六三名の方に来場していただき盛会裏に終わることができました。

### ●第七回公開書道研修会

会期 九月二十五日(日)  
会場 半田市福祉文化会館  
参加者 二十一名

本年は「隷書を学ぶ」をテーマに、講師に横井宏軒先生をお迎えして開催しました。始めは座学で漢字の書体と歴史、隷書の起源について学びました。実技では受講生一人ひとりに声掛けされ筆を一緒に持ちながらご指導をいただきました。受講者からは、「もう時間ですか、もうすこし…」の声か

### ●支部研修旅行

日時 十一月二十日(日)  
行先 犬山の旅(犬山市文化資料館と城下町の散策)  
参加者 十九名



支部展取材



公開書道研修



研修旅行



講演会

三年ぶりの研修旅行、今年度は現地集合・解散、集合場所は犬山市文化資料館前十時集合。午前は「城と町ミュージアム」・「からくりミュージアム」を見学、昼食は「犬山ローレライ麦酒館」懇親昼食会、料理食べ放題とビールでお腹いっぱい、午後は城下町に戻り自由行動・自由解散です。時間の許す限り、皆さん楽しんでください。楽しい一日でした。

### ●支部集会

日時 三月五日(日)  
会場 半田市福祉文化会館  
参加者 四十七名

本部より加藤裕副理事長、横井宏軒事務局長のご臨席を賜り、令和四年度事業報告・収支中間報告と令和五年度事業計画・予算・役員改選について審議、承認されました。

### ●講演会

講師 理事 磯谷凄聴先生  
演題 「蘇東坡との出会い」  
聴講者 五十二名

初めに、磯谷先生との書との出会い、そして師で在られる榎本樹郎先生との出会いのお話から始まり、現在の蘇東坡と出会うまでの書の道のりを資料をもとに講話をしていただきました。また、先生が作品を書いているビデオも鑑賞させていただきました。さらに対する熱意が伝わってきました。さらに、半切作品の揮毫は聴講者一同まばたきをするのも忘れて見入っていました。素晴らしい講演会でした。

西三河支部

●支部会員展

とき 二月十五日(水)～十九日(日)

ところ 岡崎市美術館

出品者 一五六名

入場者 五五五名

本部から伊藤理事長、加藤・松下・岡野副理事長四名の出品をいただき会場に一段と華を添えていただきました。今年は第五十五回の記念展にあたり、歴代支部長の作品も展示し、出品者には記念品を配布しました。

●支部会員集会

とき 二月十八日(土)

ところ 岡崎商工会議所

会員集合同もコロナ禍のため人数制限にて実施し、事業・会計報告、事業計画などの議案を審議し、いずれも原案どおり承認されました。

●講演会

講師は、副理事長加藤裕先生にお願いし、演題は「書道史散歩」で、参加会員も真剣に



会員展



講演会における揮毫(副理事長 加藤裕先生)



会員集会

聴き入っていました。講演後模範揮毫をしていただきました。

●記念誌発行

今年は、第五十五回の記念展にあたるため、記念誌として会員名簿を発行しました。

東三河支部

●支部講習会

「匠に学ぶ物づくりの魅力」

日時 十一月六日(日)

場所 豊橋市民文化会館

第五会議室

講習内容 独創的な組子細工

講師 松井三喜夫氏

参加者 三十名

今年度は「現代の名工」に表彰され、令和三年に「黄綬褒章」を受賞された松井三喜夫氏を講師にお迎えし、組子細工を学びました。組子とは釘を使わずに木を幾何学的な文様に組み上げる伝統技法です。一工程ずつ丁寧に説明を受けながら、組子体験キットの精巧に作られた小さな木片を組み合わせ、「八重桜亀甲」の文様を作る事ができました。参加者の皆さんは日頃の作品作りで集中されるように、細かい作業に集中しながらも楽しんで体験されていました。

●第二回 東三河こども書道展

期間 一月二日(月)～十五日(日)

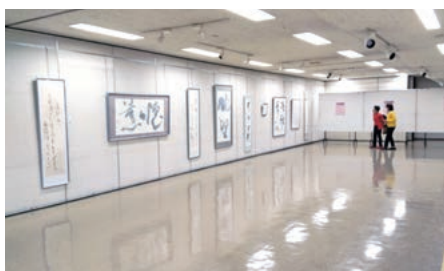
場所 こども未来館「ここ」



東三河講習会



東三河こども書道展



東三河選抜展

出品総数 二、一二七点  
今年度は、小学校二、〇四九点、中学校七十八点と昨年度を上回り、表彰式も行うことができました。表彰式には入賞者のご家族も沢山列席され、お子様の晴れ姿をカメラにおさめておられました。展示作品も熱心に鑑賞いただき、中には来年度への意気込みを語るお子様もみえて、盛況な書道展となりました。

●第四十六回 東三河支部選抜展

日時 二月二十八日(火)

三月五日(日)

場所 豊橋市民文化会館

第一、二展示室

出品数 五十六点

入場者 三六六名

顧問の村田華穂先生、権田徳園先生、理事の古川昇史先生、参与の鈴木瑞象先生に玉作を出品していただき、各社中からも個性あふれる作品が出品されました。

今年度で最後となる選抜展は全体的に小ぶりな作品でしたが、様々な書風がゆったりとした空間に展示され、地域の書道を愛する方々に熱心に興味深く鑑賞していただきました。

濃飛支部

●支部役員会

日時 令和四年十一月十九日(土)  
会場 下呂市 岩根屋下呂店

①令和四年度支部会報について

※十二号第一回編集

②令和五年度濃飛支部事業に係る、○濃飛支部展、○総会、○講演会、○支部交流会について、中津川市で開催することをコロナ禍の動向を踏まえ決定。

●支部役員会

日時 令和五年一月十五日(日)  
会場 中津川市 照壽庵

①令和四年度支部会報について

※十二号記念号第二回編集

●十二号発行

発行日:令和五年二月一日



飛騨支部会報12号



役員会

新型コロナウイルス感染症が終息が見えず、令和四年度下期も支部の事業縮小を余儀なくされ、対面の書道教室においても自粛が続いた。コロナ禍などで、顔の見える研修会もできない中、令和四年度の支部活動については、多くの制約の中で現実を直視し、そこから濃飛支部の書道活動の在り方を検討していくことが求められてきている。

我々が不転の意識改革により今後のコロナと共存した書道活動と会員相互の交流が進められることを願っている。

北勢支部

●研修会

日時 十一月二十日(日)

場所 鈴鹿市考古博物館

内容 秋季特別展観覧と体験講座

「勾玉作り」

参加者 十九名

国史跡伊勢国分寺跡の南に隣接して建てられた考古学を専門とする鈴鹿市考古博物館には市内から出土した土器・石器・瓦などが展示されています。同館では体験講座の一つとして「勾玉作り」が開催されているので、今回の研修会として利用させて頂きました。

初めに館の方から説明を受けて3×6センチの石をサンドペーパーで擦り、角を取りっていきます。柔かい石なので思ったより簡単に形が出来ました。あとは美しいフォルムを目指して細かいラインが出るよう更に磨き続け、紐を通すとネックレスの完成です。所要時間三十分〜一時間ほどでした。

又、同館の方から「今年の一字」を募集しているとのことで、有志により半紙にそれぞれの思いを込めて揮毫しました。これらの作品



研修会

は十二月二日〜十六日に各地から寄せられた作品と共に展示されました。

中南勢支部

●支部集会

日時 令和四年十一月十九日(土)  
午後三時

会場 三重県立美術館 講堂  
参加者 三十五名

本部から村瀬俊彦庶務部部长、林柏堂編集部部长、山内江鶴半田支部長のご臨席を賜り、令和四年度の事業報告、収支決算報告、五年度の事業計画、予算案を報告しました。

●講演会

日時 令和四年十一月十九日(土)  
午後四時

会場 三重県立美術館 講堂  
参加者 七十名

講師 津新町整形外科医院  
院長 荒木俊光先生

演題 「趣味と健康」

書活動に限らず私達が健康で過すためには日頃どう健康に留意しなければならぬか。先生自らの体験談を語っていただき、プロジェクトの画面から私達の身体の内部の組織など詳細に説明をしていただきました。

●研修会

日時 令和四年十一月六日(日)  
場所 伊勢市 神宮美術館・せんぐう館・徴古館

参加者 十五名

バスでの研修は取りやめ、現地集合、解散という形をとりました。せんぐう館は式年遷宮を紹介する博物館であり、近くでは見ることができない御正殿の一部が原寸大で再現されており、迫力のある展示物でした。徴古館美術館は「生きる正倉院」「伊勢神宮と正倉院が紡ぐ」と称し古代から現代までの展示物に興味深く鑑賞することができました。

●支部展

日時 令和四年十一月十六日(水)～二十日(日)  
九時～十五時

会場 三重県立美術館(県民ギャラリー)  
賛助作品 本部より五点(名誉副会長鬼頭翔雲先生作品)

出品点数 九十点  
入場者数 三五〇名

本部の先生方の作品により会場を引き立てていただきありがとうございます。会員の日頃の成果の作品と子供たちの半紙作品も展示でき、訪れる人々も熱心に鑑賞されておりました。会場が広いため二尺八尺も二段掛けせずに展示できることが県ギャラの強みです。

岐阜支部

●岐阜支部事務局会議

第七回 令和四年十月四日(火)

・支部報第六十号の内容について  
・支部設立三十周年記念、支部沿革について

第八回 令和四年十二月二十七日(火)

・支部設立三十周年記念講演会について  
・支部沿革の内容について  
会議後懇親会

第九回 令和五年二月十四日(火)

・講演会の最終打合せ  
・事務局全体会議の進行について  
・次年度支部役員改選について  
第十回 令和五年三月十四日(火)

・講演会についての報告  
・支部報、支部沿革の内容最終決定  
・次年度役員改選、事業計画について

●岐阜支部事務局全体会議

日時 令和五年二月十九日(日)

会場 ホテルグランヴェール岐山  
参加者三十七名

令和四年度の事業についての反省等を各部に於いて話し合い、その後各部長より報告

●岐阜支部設立三十周年記念講演会

日時 令和五年二月十九日(日)

会場 ホテルグランヴェール岐山  
参加者九十二名  
午前十時半～

講師 理事長 伊藤仙游先生  
演題 「王鐸の書と人物像」



講演会③



講演会①



講演会④



講演会席上揮毫②

王鐸の生きた明末清初の時代背景と、王鐸が六十歳で亡くなるまでの二朝に任える事となる波乱に満ちた生涯の詳細な解説。終生古法帖の臨模に心血を注ぎ、一月は臨書、一月は求めに応じて揮毫する規則的な学書態度。王羲之、王献之父子(二王)を宗とする二王絶対主義であり、「書は古を師としないと野俗に陥る」と説いていた。筆を思いのままに揮って長条幅や横券に雄健な筆力を駆使して、感情の爆発を見るような縦横に連綿した行書、草書、行草書の豪放大胆を極めた作品が圧倒的に多い。前述以外にも多くの内容を資料の写真での説明を交えて、大変充実した講演会となりました。

その後条幅作品六点を揮毫されて、参加者は筆使いに魅了され、声もなく見入って感嘆のうちに終了いたしました。

終了後、参加者四十三名にて講師を囲む会を開催、講演会の感動に浸り、和気藹藹のうちに閉会となりました。